

当市の水道事業を取り巻く環境は、給水人口が減少傾向にあり低迷する地域経済、さらには、節水意識の高まりなどにより水需要は減少していくと見込まれます。

本年度においても、この傾向は続くものと予測されることから、今後とも、業務の効率化や経費の節減対策、さらには、高金利で借入れしている起債の借換えを行うなどして経営の安定と健全化に努めるとともに、水道事業に課せられた使命である安全で良質な水道水を安定的に供給してまいります。

本年度の建設改良事業については、国、道の道路改良事業に併せた老朽管の更新と新設及び公道内未布設箇所の新設を行う予定です。

1 業務の予定量

項 目		業務の予定量
給 水 戸 数 (戸)		22, 151
年 間 給 水 量 (m ³)		4, 295, 000
一 日 平 均 給 水 量 (m ³)		11, 735
主 要 な 建 設 改 良 事 業(千円)		320, 779
内 訳	送配水施設整備事業(千円)	184, 960
	設備事業(千円)	135, 819

2 主要な建設改良事業

詳細は、次ページ以降に掲載

3 企業債繰上償還について

公営企業経営健全化計画を策定し、経営改革に取り組む地方公共団体を対象に、平成19年度から21年度までの特例措置として、年利5%以上の公的資金(旧資金運用部資金、旧簡保資金、公営企業金融公庫資金)について、繰上償還時の補償金が免除されることとなった。これにより、21年度までの3年間に、総額約5億1千万円の繰上償還を行う予定であります。

【平成20年度繰上償還額】

①旧資金運用部資金債(6%以上7%未満)	172, 707千円
②公営企業金融公庫資金債(5%以上～7%未満)	22, 492千円
計	195, 199千円

【繰上償還による利子軽減額】

(単位:千円)

	区 分	繰上償還額	借換債	利子負担軽減額
①	金利6%以上7%未満の 旧資金運用部資金	172,707	172,600	
②	金利5%以上7%未満の 公庫資金	22,492	22,300	
	計	195, 199	194, 900	約23, 900

※利子負担軽減額は、今後の利率変動により変わる可能性があります。

水道事業会計主要事業等調書

(款)資本的支出 (項)建設改良費 (目)送配水施設整備事業費 (節)工事請負費

図面 番号	区 分	施工場所	事業実施内容		予算額(千円)	備考
		(工事箇所)	口 径(mm)	事業内容		
①	配水管改良	登別本町3丁目	φ300	260m	33,000	715m
②		若山町2丁目	φ50	320m		
③		栄町1丁目	φ50	100m		
④		若山町4丁目	φ150	35m		
⑤	配水管移設	登別温泉町	φ50	50m	14,000	250m
⑥		若草町2丁目	φ100	80m		
⑦		登別東町2丁目	φ100	60m		
⑧		登別港町2丁目	φ200	60m		
⑨	配水管布設	登別温泉町	減圧弁φ250mm	1式	71,000	2,010m
⑩		富岸町2丁目	φ250配水制御弁	1式		
⑪		若山町2丁目外	φ100、φ250	330m、70m		
⑫		緑町2丁目	φ50	750m		
⑬		富士町1丁目	φ50	110m		
⑭		幌別町4丁目	φ100	380m		
⑮		登別東町4丁目	φ50	370m		
	土砂仮置場整地費	来馬町			2,000	
合 計			φ50~300		120,000	2,975m

(款)資本的支出 (項)建設改良費 (目)設備費

予算区分(節)	事業実施内容	予算額(千円)
量水器購入費	・水道メーターの新設、修理、破損分 ~ 420個 ・検満水道メーター分 ~ 2,991個	54,906
工事請負費	・貸付水道メーター(検満分メーター)取替工事 (φ13~φ50) 2,991個 ・中区配水池外進入防止柵設置 ・幌別浄水場データロガー装置取替	79,495